

白山市立松任中川一政記念美術館
真鶴町立中川一政美術館

中川一政 没後 30 年記念 — 二つの中川一政美術館交流展 —

【開幕延期】

松任

2021 年 9 月 14 日 (火) ~ 2021 年 11 月 28 日 (日)

真鶴

2021 年 9 月 13 日 (月) ~ 2021 年 11 月 28 日 (日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館にともない、
展覧会の開幕日を変更して開催いたします。

明治から平成にわたり創作活動に邁進した近代日本画壇の重鎮・中川一政（1893–1991 年）は、97 年の長い生涯の中で、油彩のみならず、水墨・岩彩、書、陶芸作品、挿画、装丁など幅広い芸術分野に功績を遺しました。

2021 年は、中川一政の没後 30 年を迎えます。この節目の年に、中川一政の名を冠した 2 つの美術館、白山市立松任中川一政記念美術館（石川県・昭和 61 年開館）と真鶴町立中川一政美術館（神奈川県・平成元年開館）が協力し、特別展を企画いたします。両館では、開館以来、収蔵するコレクションや土地柄にあわせ、様々な活動を行ない中川一政の魅力を広く発信してきました。本展では、作品の相互貸借や関連イベントを通じて、それぞれの視点から中川一政の画業や人生を振り返ります。

亡くなる直前まで筆をとり、創造力と生命力に溢れる多彩な作品を生み出した中川一政の生き様
は、我々に生きる勇気を与えてくれる存在です。本展覧会が中川一政の魅力を再発見する契機となれば幸いです。

■ 展覧会のみどころ ■

白山市立松任中川一政記念美術館

1 初期作品と画家の底流をなす詩歌の心

岸田劉生が認めた処女作「酒倉」（1914年）から、身近な風景を詩情豊かに表現した初期作を中心に、一つの転換期を迎える1940年代までの作品を辿ります。

併せて、一政の母のふるさとである当地を描いた作品も公開します。



「酒倉」1914年
真鶴町立中川一政美術館蔵

2 旅先の風景画や身近な人々への眼差し・人物画 ～ムーヴマンとデフォルマシオン

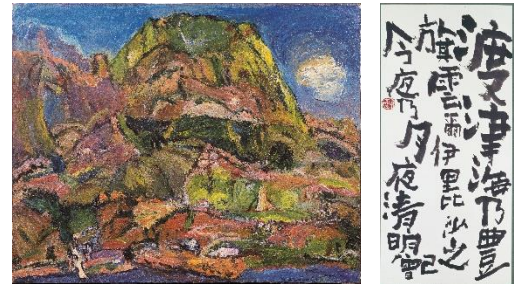
真鶴のアトリエを離れ旅先の地（長崎、尾道、フランス等）で描かれた作品や、自身の孫たちをモデルにした作品にスポットを当て画家の1960～70年代を追います。画面から説明性を排し、自らの感動を直截に表現する独自の画法を模索する姿勢を「ムーヴマン」と「デフォルマシオン」のキーワードから探り、真骨頂「駒ヶ岳」に到る道程に迫ります。



「少女像」1975年
個人蔵

3 真骨頂「駒ヶ岳」と、その先の自在の境地

徹底した現場主義により生まれた大作「駒ヶ岳」を展観するとともに、1980～90年代（一政90歳代）に画室で取り組んだ「薔薇」や「向日葵」また、書作品を紹介。苦闘の末に辿り着いた画法にさえ留まることをよしとせず、常に自己革新を続けた生き様を紹介しします。

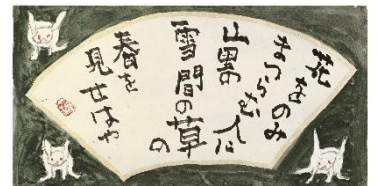


左から「駒ヶ岳」1975年、「渡津海乃（わたつみの・万葉集）」1989年、共に当館蔵

真鶴町立中川一政美術館

1 真鶴での創作の日に迫る

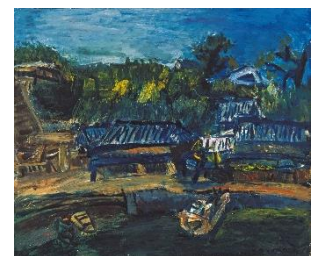
昭和24年に神奈川県真鶴町にアトリエを構え、東京と真鶴の二拠点で創作活動を展開した中川一政。アトリエからほど近い福浦港（神奈川県湯河原町）に20年近く通い続け、港の岸壁に立ち描き続けた風景画の連作や、創作活動の集大成として挑んだ箱根での制作について振り返ります。また、真鶴のアトリエで描かれた静物画や書、ユーモアあふれる陶芸作品の数々をご紹介します、中川一政の手わざの魅力に迫ります。



書「花をのみ」1980年 当館所蔵

2 日本各地と世界を巡る旅

中川一政は、長い時間をかけて一つの写生地で己と向き合い絵を描き続ける一方で、国内外さまざまな地を訪れ、芸術や文化について造詣を深めるとともに、当地にて創作を行ないました。本展ではフランスやスペイン、尾道、瀬戸内、九州における滞在中に描かれた風景画や、旅先で詠んだ歌などをご紹介します。



油彩「瀬戸内海」1965年
白山市立松任中川一政記念美術館蔵

3 新規収蔵作品を初公開！

令和元年度に当館へ新規収蔵された油彩画4点「福浦」（1960年）、「箱根湖尻」「箱根湖尻（春）」（ともに1977年制作）、「薔薇と蜜柑」（1990年）を初めて展観します。80代半ばに描かれた「箱根湖尻」2点は、まるで2枚の作品を競わせたかのように同じ構図で描かれており、箱根での長きにわたる創作を語るうえでも重要な作品であると言えます。亡くなる直前に描かれたとされる「薔薇と蜜柑」も必見です。松任と真鶴、2館の代表作とともに、この機会にぜひご鑑賞ください。



油彩「薔薇と蜜柑」1990年 当館所蔵

■ 関連イベントのご案内 ■

※新型コロナウイルス感染症等の状況により中止及び内容が変更する場合があります。変更の場合や詳細については各館公式ウェブサイトでご案内いたします。

白山市立松任中川一政記念美術館 (会場の記載のないものは、美術館内で行います。)

一部中止、日程変更あり

オープニングコンサート 「中川一政が愛した音楽 ～クラシック&フラメンコ」

※9月4日は中止します

出演：坂口昌優氏 (ヴァイオリン) ほか
日時：9月4日(土) 13:30～14:30
→延期開催の場合は、ホームページにてお知らせいたします。
す。なお、当選者の方には追ってご連絡いたします。

記念講演会 「中川一政の書の魅力について」

講師：石川九楊氏 (書家・書史研究家)
日時：10月30日(土) 13:30～
会場：千代女の里俳句館 研修室
定員：50名 (往復はがき応募にて抽選)
料金：未定

0歳からの家族鑑賞会「ミュージアム・スタート」

日時：10月18日(月・休館貸切) 午前
対象：乳幼児とその家族
定員：調整中 (要事前申し込み)
料金：無料
協力：NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

クロージングイベント「美術館句会」

講師：大高翔氏 (俳人・「藍花」副主宰)
日時：11月28日(日) 10:00～12:00
定員：20名 (往復はがき応募にて抽選)
料金：1,000円 (観覧料含む)

ギャラリートーク 日時：9月11日(土)・26日(日)※、10月10日(日)・23日(土)、11月7日(日)・20日(土)

一部中止 ※9月11日(土)の回は中止します。

時間：各回 11:00～11:30※ / 定員：各回 15名 ※9月26日(日)のみ 14:00～15:00、要申し込み

〈スペシャルトーク〉9月26日(日)14:00～15:00 ゲスト：加藤志帆氏(真鶴町立中川一政美術館 主任学芸員)

真鶴町立中川一政美術館

オープニング記念講演会 鼎談「中川一政先生との思い出を語る」

出演：入江 観氏 (画家・女子美術大学名誉教授)
小杉 小二郎氏 (画家)

聞き手：当館学芸員

会場：真鶴町民センター3階 講義室
(定員30名、申込み先着順) 入場無料

日時：~~9月4日(土) 14:00～15:30~~
※開催日変更しました※ **【New】10月30日(土)**

※事前申込制となります。
※詳細はホームページにてご案内します。
※当日は美術館から会場まで無料の送迎をご利用いただけます。(出発は1時30分を予定しています。)
◇受付開始日：8月16日(月)～定員に達し次第受付終了
◇申し込み先：中川一政美術館 (☎0465-68-1128)

美術館コンサート

「中川一政とフラメンコの世界」【延期】

出演：渡邊 薫氏 (日本フラメンコ協会 理事) ほか
会場：お林展望公園管理棟2階 (美術館隣接)
(事前予約制、申込み先着順)

日時：~~9月23日(木・祝)~~
~~一部：13:00～ 二部14:30～~~

※9月23日は中止します
※振替公演は2022年3月上旬を予定しています。

定員：各回30名ずつ
料金：2,000円 (展覧会観覧料含む)
※1部、2部入れ替え制で2公演おこないます。
※詳細はホームページにてご案内いたします。

◆ ギャラリートーク ◆ **当館学芸員が本展の見どころを解説いたします。** ※ ① 9月11日(土)の回は中止します。

【時間】14:00～14:30 ※③10/9と⑥11/21のみ **14:00～15:00** 【定員】各回15名

① ~~)(中止)9月11日(土)~~ ② 9月19日(日) ③ 10月9日(土) ④ 10月17日(日) ⑤ 11月13日(土) ⑥ 11月21日(日)

〈スペシャルトーク〉各回 14:00～15:00 **※要申込**

- ・ 3回目 (10月9日) ゲスト：佐々木惣助氏 (中川一政秘書)
- ・ 6回目 (11月21日) ゲスト：徳井静華氏 (白山市立松任中川一政記念美術館 学芸員)

スペシャルトークの参加は事前申し込み制となります。申し込み先：中川一政美術館 (☎0465-68-1128)

■ 展覧会概要及びアクセス ■

白山市立松任中川一政記念美術館

- 展覧会名 白山市立松任中川一政記念美術館開館35周年記念
没後30年 中川一政展 -二つの中川一政美術館交流展-
- 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日 ※9月20日(月・祝)は開館し、9月21日(火)休館)
- 会場 白山市立松任中川一政記念美術館(石川県白山市旭町61-1) TEL:076-275-7532
- 観覧料 一般400(200)円、高校生200(100)円、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※各種障がい者手帳を提示の方、及び必要な介護者1人は無料
- 出品点数 約80点
- 主催 白山市・白山市立松任中川一政記念美術館
- 後援 北國新聞社
- 助成 芸術文化振興基金
- お問合せ 白山市立松任中川一政記念美術館 TEL:076-275-7532
- アクセス

- 【電車】JR金沢駅から普通列車(小松・福井方面行き)で約10分、JR松任駅下車、南口から徒歩1分
○東京方面から 北陸新幹線かがやき利用で、金沢駅まで約2時間30分
○大阪方面から 特急サンダーバードで、金沢駅まで約2時間30分
○名古屋方面から 特急しらさぎで、金沢駅まで約3時間(東海道新幹線 米原乗り換えで、約2時間30分)
- 【航空機】小松空港からJR小松駅経由、松任駅下車
- 【バス】JR金沢駅及び金沢市街地から北鉄バス40・41番「松任」経由路線利用、約30分、「松任」停留所下車、徒歩3分
- 【車】専用駐車場8台(無料)、松任駅南立体駐車場(3時間無料)
北陸自動車道 白山ICより、松任駅前まで約10分



真鶴町立中川一政美術館

- 展覧会名 中川一政 没後30年記念 -二つの中川一政美術館交流展-
- 開館時間 10:00~16:00 (入館は15:30まで)
- 休館日 毎週水曜日・火曜日(祝日は開館)
- 会場 真鶴町立中川一政美術館(神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1178-1) TEL:0465-68-1128
- 観覧料 一般800(700)円 大学生・高校生300(200)円 中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※各種障がい者手帳の交付をうけた方は入館無料
※湯河原・真鶴町民の入館割引あり
- 出品点数 約90点
- 主催 真鶴町立中川一政美術館(真鶴町教育委員会)
- 後援 神奈川新聞社
- お問合せ 真鶴町立中川一政美術館 TEL:0465-68-1128
- アクセス

- 【電車】○東京方面から JR東海道線小田原駅(下り方面)より13分JR真鶴駅にて下車
○大阪方面から JR東海道線熱海駅(上り方面)より9分JR真鶴駅にて下車
真鶴駅からはバスまたはタクシーにてご来館ください。駅前観光案内所ではレンタルサイクルも貸し出しております。
- 【バス】○JR真鶴駅ロータリーより
(1)(株)伊豆箱根バス「ケーブル真鶴」ゆき(約15分)(2)コミュニティバス真鶴線(約14分)
→「中川一政美術館」停留所下車徒歩1分
- 【車】○東京方面から 東名高速道路・厚木IC→小田原厚木道路→西湘バイパス→国道135号線(真鶴道路旧道)→真鶴駅前信号左折
○関西方面から 東名高速道路・沼津IC→国道1号線→国道136号線→熱海・函南線(県道11号線)→国道135号線→真鶴駅前信号右折 →真鶴半島内へ約7分

中川 一政 Kazumasa Nakagawa



中川一政（撮影：岡田孝二氏）

1893（明治26）年、東京の本郷で生まれる。文芸誌「白樺」により日本に紹介されたゴッホやセザンヌの作品に触発され、絵の道に進む。

1914（大正3）年、21歳で描いた処女作「酒倉」が第14回巽画会において入選。翌年にも最高賞の二等賞を受賞。岸田劉生が組織した草土社を経て春陽会の会員となり、以降、会の中心メンバーとして戦後日本洋画壇を引っ張っていく存在となる。

1949（昭和24）年に神奈川県真鶴町にも画室を構え、この町を拠点として創作活動を行う。

1960年（昭和35）年5月、全国知事会から東宮御所に『漁村凱風』が献納される。12月、歌会始の召人に選ばれる。

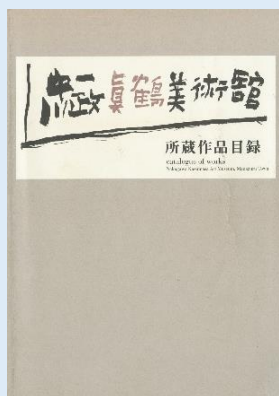
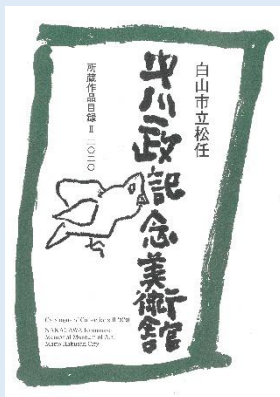
1975（昭和50）年には画家としての業績が称えられ、文化勲章を受章。

1986（昭和61）年、母の故郷である石川県松任市（現：白山市）に松任市立中川一政記念美術館（現：白山市立松任中川一政記念美術館）が開館。

1989年（平成元）年には、アトリエのある神奈川県真鶴町に真鶴町立中川一政美術館が開館。

1991（平成3）年に98歳を目前にして亡くなるまで、精力的に創作を続けた。油彩を中心に、水墨、岩彩、書、陶芸、挿画、本の装丁等の分野にも多くの優れた作品を残している。

☆会期中、両館の『作品目録』をそれぞれの会場でお求めいただけます。



左)「白山市立松任中川一政記念美術館 所蔵作品目録Ⅱ2020」

価格 2,500円／184頁／2020.9発行／
作品・資料約350点の画像を収録し、図書資料や
年譜など資料編も充実

右)「真鶴町立中川一政美術館 所蔵作品目録」

価格 3,000円／279頁／2014.5発行（第2刷発行）
作品・資料約565点の画像を収録し、図書資料や
中川一政蒐集品リスト、書積文なども充実

報道関係お問い合わせ先

- 白山市立松任中川一政記念美術館 担当：徳井静華

電話・ファックス：076-275-7532

E-mail：nakagawakinen@city.hakusan.ishikawa.jp

美術館公式ウェブサイト：<http://www.hakusan-museum.jp/nakagawakinen/>



- 真鶴町立中川一政美術館 担当：加藤志帆

TEL 0465-68-1128／ファックス：0465-68-1126

E-mail：kyo_shakaikyoiku@town.manazuru.kanagawa.jp

美術館公式ウェブサイト：<https://nakagawamuseum.jp/>

（HPの専用フォームからも問い合わせ可）

